

令和5年度 がん教育等外部講師連携支援事業 「がん教育外部講師派遣」 報告書

学校等名 西海市立平島小中学校

担当者名 中村 梨紗

電 話 0959-47-2006

F A X 0959-47-2092

実施日 令和 5 年 11 月 10 日(金) 10: 00 ~ 13 : 00

場 所 西海市立平島小中学校 多目的ホール(リモート開催)

講座名 「がんに対する正しい知識を持ち、自他の命の大切さについて考える」

講 師 長崎県福祉保健部医療政策課 医療監 安藤 隆雄 氏

近隣校 案内先: 西海市立江島中学校 計 1 校
への案内

参加者	児童・生徒 学年 (3)人 【小4、5 中3】	学校職員 (9)人	保護者 (0)人	他校職員等 (江島中4)人	その他 (江島中生徒 2名) 【中1. 中3】 総計(18)人
-----	------------------------------------	----------------	---------------	------------------	----------------------------------------------

テーマと
内 容 テーマ:「がんに対する正しい知識を持ち、自他の命の大切さについて考える」
内 容:がんは誰でもなるのか がんは日本の死因の第何位なのか
がんの原因(たばこと感染) がん検診について

<当日の様子> *事業の様子等を必ず画像で添付してください。



<講師からの指導や助言・成果>

- ・がんは誰でもなる可能性があり、一生のうちで男性は三分の二、女性は二分の一の確率でがんになる可能性がある。がんは日本人の死因の第1位で、体のどこにでもできる可能性がある。
- ・がんの原因には、主に喫煙と、B型・C型肝炎ウイルス等のウイルス感染がある。生活習慣を改善することでがんを予防することができる。しかし、良くない生活習慣をしたからといってがんになるわけではない。
- ・大人になったらがん検診を受けることができるが、具合が悪くなってからがん検診を受けるのではなく、健康な時でも受診し、早期にがんを見つけることが大切。長崎県は、がんになる人とがんで亡くなる人が全国に比べて多い。理由としては、がん検診の受診率が低く、がんの発見が遅れるためである。
- ・緩和ケアというものがあり、がんになった人の心と体の痛みや辛さを軽くするケアや治療のことである。
- ・がんは怖い病気で、がんになって初めてわかることも多く、本人や家族・友人にとってとても辛いことだが、その後も人生は続くのでその人らしく生きてほしい。
- 講演会を聞いて、がんは誰でもなる可能性があることを学び、「がん検診を受けられるようになったら必ず受けて、大人になっても喫煙や飲酒を控えよう」という感想を児童生徒はもっていた。

<今後の取組及び課題> *今後のがん教育の充実に向けての活用等

児童生徒の感想から、今回学んだがんについての正しい知識を共有して、健康な生活を送れるように、自分も大人になったらがん検診を受けようという思いを持つことができたと思う。今後も外部講師を活用した講演会等の機会を設け、自分の健康について考え、自他の命を大切にできる児童生徒を育成していきたい。